

○質問番号1番 市長公室関係

議席番号7 熊谷東中学校 岩元良憲 議員

市長のマニフェストの進捗状況と今後について 政策調査課

私たちの母校である熊谷東中は、今年で創立50周年を迎えました。「歴史に感謝 継承する心 我らが母校」というスローガンのもと、東中生としての誇りを持ち学校生活を送れるよう、全校生徒が協力して学習や部活動に取り組んでいます。

そこで、富岡市長への質問です。市長のマニフェストである「市民から信頼される行政、市民が誇りをもてるまちづくり、市民の笑顔があふれるまち熊谷」についてです。ご自身で、マニフェストがどの程度達成できているとお考えですか。また、私たち熊谷市民が誇りを持てるよう、今後どのように取り組んでいられるのか、お考えをくわしく教えて下さい。

議席番号24 大幡中学校 村上滉樹 議員

市立女子高校跡地の有効活用について 政策調査課

熊谷市立女子高等学校が廃止されてから約5年が経過しました。このまま放置しておくのは土地がもったいないと思います。この土地をどうにか有効活用してほしいです。例えば、生涯学習センターを造り、小さな子供からお年寄り、障害を持っている人などが利用できる図書館や、子供のための遊べる広場、音楽会や上映会などを開くことができるスタジオなどを建てたりしてほしいです。他には、公園やサーカス、演劇ができるホールなど建ててほしいです。そして熊谷市を商業施設や文化施設などでにぎわう活気のある町にしてほしいです。どうか土地を有効活用していただきたいと思います。

市長および部長答弁

(市長答弁)

岩元良憲議員さん、村上滉樹議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

最初に、岩元さんのマニフェストの進捗状況について、お答えします。マニフェストは、選挙のときに、立候補者が有権者に対する約束事として、定着し始めたものです。

昨年10月に、市長選挙が行われましたが、私の政策提言、いわゆるマニフェストとして、「信頼、誇り、笑顔」の三つの目標を掲げ、六つの政策分野における、58の施策の実現を市民の皆さんに約束し、当選させていただきました。

私は、このマニフェストを基に全力で市政を運営していますが、施策が多岐にわたりますので、六つの政策分野のうち、皆さんと密接に関係する「子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします」の政策分野について、その主な施策の進捗状況をお答えします。

まず、児童クラブについては、大麻生小学校に市内32か所目となる児童クラブを、本年9月に開設しました。また、子育て広場については、立正大学内に市内17か所目の施設として、来年4月に開設するための準備をしています。さらに、

小中学校の屋内運動場については、中条小学校の屋内運動場を改築し、熊谷東小学校、中条中学校、吉岡中学校の3校については、改築に向けた地質調査及び設計を今年度中に行うなど、順調に進んでいるものととらえています。

このほかの五つの政策分野についても、概ね順調に進んでいると考えていますが、今後の取組については、現在、1年目の進捗状況を評価中ですので、その評価の結果を2年目以降に順次反映させ、全力で、そして、情熱を持って取り組むことにより、「地域の特性や伝統を生かし、市民皆様が誇りを持っていきいきとくらすまちづくり」を目指していききたいと考えています。

次に、村上さんからの、市立女子高校跡地の有効活用についての質問にお答えします。私のマニフェストにおける新たな取組の一つとして、「市立女子高校跡地を生涯学習、教育、スポーツの場にします」と掲げてありますので、本年5月、関係職員による検討委員会を発足させています。検討委員会では、市民の皆さんが生涯にわたって、文化、スポーツに親しめる施設として、具体的に検討を進めていますので、村上さんからいただきました生涯学習センターの建設にかかわる提案内容も参考にさせていただきたいと考えています。

議席番号7 熊谷東中学校 岩元良憲 議員

市長のマニフェストの進捗状況と今後について（部長答弁）

岩元良憲議員さんの「市長のマニフェストの進捗状況と今後について」にお答えします。

マニフェストの進捗状況については、現在、58の施策について、それぞれ関係する部署ごとに、1年目の評価を公表できるよう取りまとめている段階にあります。

ちなみに、前の任期になりますが、マニフェストの進捗率が96%、富岡市長の自己評価は90点という、結果でした。

現在取りまとめている進捗状況などの評価結果については、市民の皆様に分かりやすくお知らせすることができるよう、12月の市報「くまがや」への掲載に向け準備を進めています。

議席番号24 大幡中学校 村上滉樹 議員

市立女子高校跡地の有効活用について（部長答弁）

村上滉樹議員さんの「市立女子高校跡地の有効活用について」にお答えします。市立女子高校の閉校後の跡地利用については、暫定的ではありますが、平成20年4月から、グラウンドや体育館を登録市民団体にスポーツ施設として開放することにより、その有効活用を図ってきました。

利用いただいている主な種目は、ソフトボール、サッカー、バスケットボールやバレーボールなどであり、平成21年度の利用状況は、延べ2,693件、利用人数は延べ62,348人となっています。

村上さんからは、市立女子高校跡地の有効利用として、例えば、生涯学習センターをとの提案がありましたが、市においても、先ほど市長の答弁にありましたように、本格的な跡地利用に向け、検討委員会を立ち上げています。そして、この検討委員会では、市民の皆さんが生涯にわたって、文化、スポーツに親しめる施設として、既存施設・設備を生かしながら、その有効活用を図ることが

できるよう、具体的に検討を加えているところです。

○質問番号 2 総合政策部関係

議席番号 22 奈良中学校 富岡泰亮 議員

熊谷市における不況の影響及び経済状況について 財政課

近年、ニュース等で、いろいろな国が不況だという話題をよく見ます。それは日本も同じです。その事から熊谷市に影響はどのくらいありますか。それと、今の熊谷の経済状況はどのようになっていますか。

議席番号 29 妻沼西中学校 岡村恒平 議員

市内循環バスについて 企画課

私は、低価格で気軽に利用できる交通手段について質問させていただきます。私は、熊谷市の北端の妻沼に住んでいます。そこから熊谷駅や熊谷運動公園などに行く場合には、バスを使うことが多いのですが、一般の会社のバスだと運賃が少し高めのため、中学生が毎回利用することは難しいです。また、熊谷市の市内循環バスは、百円で乗り入れるのでとてもありがたいのですが、時間に余裕がない時は利用できません。そこで、中学生、またお年寄りの方も利用しやすくするために、市内循環バスのコースを色々設定したり、本数を増やしたりすることは可能でしょうか。大変なお願いかと思いますが、合併で大きくなった熊谷市の地域活性化にも繋がると思っています。よろしくお願いします。

市長および副市長、部長答弁

(市長答弁)

富岡泰亮議員さん、岡村恒平議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、副市長、担当部長からお答えします。

始めに、富岡さんから「熊谷市における不況の影響及び経済状況について」質問をいただきました。

アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズの経営破綻に端を発した経済不況の影響を受け、日本では、平成20年度後半から景気が冷え込み、雇用情勢なども急激に悪化しました。政府は「生活防衛のための緊急対策」、「経済危機対策」、「緊急雇用対策」など様々な景気回復策を打ち出し、熊谷市もその一翼を担ってきました。その結果、内閣府では今年に入ると輸出の伸びと個人消費により、景気は持ち直しつつあると報告していますが、一方では、デフレの影響や失業率が高水準にあること、また、最近の円高・株安の状況などから依然として厳しい状況にあるとしています。こうした中、本市におきましても平成21年度には市税の大きな落ち込みがありましたが、これまでの蓄えを有効に活用することなどにより黒字の決算とすることが出来ました。

今後も様々な工夫により健全財政を維持していきたいと考えています。

次に、岡村さんから「市内循環バスについて」質問をいただきました。「ゆうゆうバス」の愛称で運行している市内循環バスは、安い運賃で、民間会社が運営する一般の路線バスとは異なるルートを運行し、多くの市民の皆さんに御利用いただいています。ゆうゆうバスや一般の路線バスなどの公共交通は、市民生活のために大切な移動手段であり、また、過度な自動車利用の抑制につながることから、環境対策の点からも有用であると考えています。こうしたことから、ゆ

うゆうバスを充実することは、便利で機能的なまちづくりを行うために欠かすことのできないものであり、現在、平成23年度中の運行開始を目指して、既存路線の見直しに加え、新規の路線についても検討を行っています。

議席番号 22 奈良中学校 富岡泰亮 議員

熊谷市における不況の影響及び経済状況について (副市長答弁)

富岡泰亮議員さんの「熊谷市における不況の影響及び経済状況について」にお答えします。

平成20年度後半から始まった経済不況については、熊谷市でも21年度にその影響を大きく受けています。主なものとして、歳入では、市民税や固定資産税などの市税のうち、個人と法人の市民税が前年度に比べ約27億円の減少となりました。一方歳出では、失業率の上昇に伴う生活保護費の増加に加え、障害者支援費、医療費助成なども増え、これら福祉・医療に係る経費である扶助費が約10億円増加しました。

このような状況の中、熊谷市では歳入不足を補うため、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金を約12億円取り崩すなどして、財源の確保を図り、21年度を乗り越えたところです。

今年度は、今のところ法人市民税で若干回復傾向が見られるものの、個人市民税の落ち込みが大きいこと、昨年に引続き扶助費の増加が見込まれることなどから、限りある財源を今まで以上に効果的・効率的に活用し、健全財政を維持し、市民から信頼される行政を目指していきたいと考えています。

議席番号 29 妻沼西中学校 岡村恒平 議員

市内循環バスについて (部長答弁)

岡村恒平議員さんの「市内循環バスについて」にお答えします。

ゆうゆうバスは、市民皆様の交通の利便性を図るため、現在、4系統を計5台で運行しています。

平成21年度は16万人以上の方に御利用いただいておりますが、運賃を100円と低く設定しているため、熊谷市は運行主体であるバス会社に年間約4,200万円を補助しています。

また、現在の路線は、合併前の旧市町の時のものをそのまま引き継いでいるため、民間会社の路線バスの廃止による、交通が不便な地域や、コースが長く、目的地まで行くのに時間がかかる路線があるなどの課題があります。

そこで熊谷市では、民間バス事業者や市民などからなる熊谷市地域公共交通会議を設置し、こうした課題の検討を進めています。

具体的には、既存路線の見直しに加え、ゆうゆうバスの路線がなかった江南地区や熊谷駅周辺への新規路線の検討を行っていますが、来年度中には新たなゆうゆうバスの運行を開始する予定です。

今後も、利便性の向上と運行に掛かる費用負担とのバランスを考えながら、ゆうゆうバスの利用促進を図っていきたいと考えています。

また、ゆうゆうバスの運行を継続するには、まず市民の皆さんに御利用いただくことが第一ですので、岡村さんにも今までと同様にゆうゆうバスを積極的に利用していただくとともに、ご家族やお友達などに御利用を勧めていただくな

ど、応援をよろしくお願いします。

○質問番号 3 市民部関係

議席番号 6 大原中学校 大門祐貴 議員

花いっぱい活動について 市民活動推進課

大原中学校ではPTAの方と協力して花いっぱい運動という花植え活動をして、大原中学校を花いっばいにし、学校環境をにぎやかにしています。そこで熊谷市でも市をあげた取り組みとして、花植え活動をしたり、市が運営する施設などに花植え活動の呼びかけをしたりすると、熊谷市を花いっばいの町として地域活性化がはかれると思うのですがいかがでしょうか。

議席番号 8 熊谷東中学校 松本杏香 議員

来年の夏に向けての熱中症対策について 健康づくり課

今年の夏は、100年に1度といわれるほど猛暑日が続きました。埼玉県内でも熊谷市内でも熱中症で亡くなってしまった方もいたようです。特に体の弱い高齢者や小さな子どもたちが苦しんでいるのは、とても悲しいことです。大阪のある市では、消防署に「熱中症シェルター」を設けて熱中症対策を講じていましたが、熊谷市でも来年の夏に向けて熱中症対策に取り組もうという準備はしているのですか。教えて下さい。

市長および部長答弁

(市長答弁)

大門祐貴議員さん、松本杏香議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

始めに、大門さんの「花いっぱい活動について」ですが、熊谷市では、市民と市が力を合わせ、「協働」によるまちづくりを進めています。

そうした中、市民活動が活発化してきており、市民及び企業等による壁面緑化事業や自治会等による花いっぱい事業などが推進されております。

花や緑のあふれるまちは、市民や本市を訪れた人の心をなごませるとともに、暑さ対策の効果や地域を活性化させる効果などがありますので、これからも花と緑のあふれるまち「熊谷」を目指して、この事業を推進してまいります。

次に、松本さんの「来年の夏に向けての熱中症対策について」ですが、今年の夏は、35度を超える猛暑日が41日と記録的な暑さが続き、熱中症により緊急搬送された方も、去年の4倍を超えました。

このため、熊谷市ではこれまでの熱中症対策のほかに、7月下旬から猛暑日には防災行政無線による啓発放送や広報車両による注意喚起、相談窓口の開設、熱中症予防ちらしの全世帯への配布など新たな対策を実施しました。

暑さ日本一の熊谷で、どのような暑さ対策が実施されているのか、数多くのマスコミにも注目されたところです。

これからも、引き続き他に先駆け、暑さに対する健康対策に積極的に取り組み、暑さ日本一のまちから暑さ対策日本一の熊谷を、全国に発信していきます。

議席番号 6 大原中学校 大門祐貴 議員

花いっぱい活動について (部長答弁)

大門祐貴議員さんの「花いっぱい活動について」にお答えします。

熊谷市では、広く市民の皆様からフラワーキーパーとして、花植えのボランティアを募集するとともに、中学生などにも参加いただき、コミュニティ広場、市役所通り、星川通りや籠原駅南口などに、春はベゴニア、秋はパンジーの花を植えています。

また、小学校、中学校や保育所では、「あつさ はればれ 熊谷流」の冷ませ・花緑いっぱい事業により、暑さ対策として、朝顔やゴーヤによる壁面緑化とあわせ、ひまわりやマリーゴールドなどによる花いっぱい運動を展開しているほか、地域の公園や子ども広場を、自治会などに維持管理いただく「公園サポーター制度」による花植えなども行っています。

これからも、市民と市の協働による花や緑のあふれるまちづくり活動を通じ、自然や公共施設を大切に作る心を育み、地域コミュニティの活性化を進めていきます。

議席番号 8 熊谷東中学校 松本杏香 議員

来年の夏に向けての熱中症対策について (部長答弁)

松本杏香議員さんの「来年の夏に向けての熱中症対策について」にお答えします。

熊谷市では、国内最高気温40.9度を記録した平成19年8月16日を契機に、市民の健康や環境の面から、いち早く熱中症対策を実施しており、先ほど市長よりお答え申し上げました対策のほか、全国で初めてとなります、日本気象協会と提携した「熱中症予防情報メール配信事業」や熊谷駅広場に設置した冷却ミスト事業を実施しています。

また、一人暮らしの高齢者には、民生委員さんによる訪問活動を通じ、熱中症計の配付などきめ細かな対策も実施しています。

しかしながら、今年の夏は、気象庁の観測が始まって以来、113年間で一番厳しい暑さとなり、屋外だけでなく、屋内で過ごす高齢者が熱中症を発症し、救急搬送されるケースも急増しました。

この猛暑対策として、松本さんからご提案いただいた消防署を利用した熱中症シェルターの設置は、自宅にエアコンのない方などの一時避難所として、有効な対策だと考えます。

来年の夏に向けましては、これまで取り組んできた対策、今年新たに実施した対策や熱中症シェルターの設置を含めその効果を調べる中で、より効果的な熱中症対策事業を、展開していきたいと考えています。

○質問番号 4 市民部関係

議席番号 3 富士見中学校 植原美香 議員

避難所や標識等の老朽化対策について 危機管理室

災害時の避難場所とされている建物や広場が老朽化していて危険だと思っています。標識も、場所が分かりづらかったり、色があせてしまって見えない所もあります。

そこで、建物や設備も修理してほしいと思います。また、標識もよく見えるように設置し直して欲しいです。

私達が安全に避難できるようにしてください。

議席番号 12 大麻生中学校 西村玲香 議員

不審者対策について 安心安全課

不審者の対応についての質問です。ここ数年間で熊谷市内や、私の中学校の近くで不審者が出たという話をよく耳にします。そして、その度に大人だけでなく子供達も被害を受けています。学校でも、先生から注意や複数での下校の呼びかけがされていますが、熊谷市内では不審者が出た場合、どのような対策をしているのでしょうか。また、不審者がかまった場合、熊谷警察ではどのような対応をし、今後同じことが起こらないようにするため、どのような対策を考えているのか教えて下さい。

議席番号 20 三尻中学校 野口真莉子 議員

籠原駅の放置自転車について 安心安全課

私の使用している籠原駅では、自転車置き場があります。毎日、たくさんの方が利用しているようです。しかし、その反面放置自転車も多いです。また、その自転車がエレベーターを利用するのに邪魔だったり、点字ブロックの上に堂々と置いてあるのが気になりました。この問題について、どうにか手だてをうたばなければいけないと思うのですが、何かよい方法はあるのでしょうか。

市長および部長答弁

(市長答弁)

植原美香議員さん、西村玲香議員さん、野口真莉子議員さんの質問に私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

はじめに、植原さんの「避難所や標識等の老朽化対策について」ですが、熊谷市では、大規模災害が発生した場合に、皆さんの通っている中学校や小学校などを避難所として利用することにしています。

大地震が発生した場合には、避難所となっている施設についても、大きな揺れに見舞われることから、老朽化した避難所の安全性を確保するため、計画的に耐震化の工事や建て替えを行っています。

また、避難場所の案内標識についても、見えにくいものを計画的に補修しています。

次に、西村さんの「不審者対策について」ですが、熊谷市では皆さんの下校時間に合わせ、通称「青パト」と呼ばれる防犯パトロール車で、定期的にそれぞれ

の地域を巡回しています。不審者情報があった場合には、随時防犯メールで保護者へ情報提供するとともに、警察署へパトロールの強化をお願いしています。また、各自治会を中心とした自主防犯パトロールや児童・生徒の見守り活動など、地域で積極的に取り組んでいただいている防犯活動が、不審者対策を含め犯罪の抑止に大変効果のある活動となっています。

皆さんへのお願いですが、一人ひとりが危険な場所に近づかない意識を持つことも、被害にあわないために重要なことだと思います。

次に、野口さんの「籠原駅の放置自転車対策について」は、熊谷市でも籠原駅周辺の放置自転車をなくすため、自転車駐輪場の利用を呼びかけている他、シルバー人材センターにお願いし、指導を行うなど様々な対策を行っています。放置自転車の数は、減ってきてはいますが、依然として、高齢者や障害者などに迷惑をかけている状況もあり、これからも、JRなどと連携を図りながら、対策を取っていききたいと考えています。

議席番号 3 富士見中学校 植原美香 議員

避難所や標識等の老朽化対策について (部長答弁)

植原美香議員さんの「避難所や標識等の老朽化対策について」にお答えします。熊谷市では、大規模災害が発生した場合に、市民の方が一時的に避難する場所として公園や広場など58箇所を一時避難場所として利用するほか、皆さんが通っている中学校や公民館、保育所、集会所など143箇所を避難所として利用することにしています。

これらの避難所の中には、最近建て替えた新しい施設のほか、建築後40年以上経過し老朽化した施設もあります。

大きな災害が発生した場合、多くの市民の方が避難所での生活をするようになりますので、老朽化した避難所の計画的な耐震化工事や建て替えを行うとともに、これからも補修や維持管理を適切に行っていきます。

次に、避難場所の標識についてですが、市民の皆さんが普段から避難場所であることを知っていただき、災害が発生した場合に、速やかに避難できるよう案内標識を設置しています。標識の中には、色があせて見えにくくなった物もあることから、平成21年度に164箇所の標識の補修を行っており、これからも計画的に補修していききたいと考えています。

議席番号 12 大麻生中学校 西村玲香 議員

不審者対策について (部長答弁)

西村玲香議員さんの「不審者対策について」にお答えします。

熊谷市は、不審者情報がありますと、随時、防犯交通安全情報メールで情報提供するほか、通称「青パト」と呼ばれる防犯パトロール車で、その地域を巡回すると共に、警察署へパトロールの強化をお願いするなどの対策をとっています。

熊谷警察署に確認したところ、不審者を逮捕した時の対応ですが、「犯罪行為」には、法に従い処罰がされ、また、「声かけ」や「肩に手をかける」などの行為も犯罪の前兆ととらえ、注意するとのことでした。

不審者被害を未然に防止する対策としては、自治会や校区連絡会を中心に自主防犯活動団体が280以上結成され、皆さんの見守活動をはじめ地域で積極的に取

組んでいただいている防犯活動が、犯罪抑止効果をあげています。
しかしながら、今年8月現在、県内での不審者による被害発生は、18歳以下で861件あり、8割が一人で行動している時に発生しています。普段からできる限り一人行動をとらないで、友達同士での登下校を心掛けてください。
万一、不審者に出会ってしまった場合には、「大声をあげる」、「防犯ブザーを鳴らす」、「子ども110番の家」などに逃げ込むなどの行動をとってください。一人での行動や危険な場所などは、できる限り避けて、自分に降りかかる危険を未然に防ぐことが、不審者から身を守るために、一番大切な事だと思います。

議席番号 20 三尻中学校 野口真莉子 議員

籠原駅の放置自転車について (部長答弁)

野口真莉子議員さんの「籠原駅の放置自転車について」にお答えします。
熊谷市では、籠原駅の放置自転車の防止と籠原駅利用者の利便を図るため、南口に3か所1,610台分の無料駐輪場を確保しています。
放置防止対策として、通勤・通学の時間帯に合わせて、シルバー人材センターに委託をし、民間の駐輪場や市営駐輪場を利用するよう、指導を行っています。
今年の9月に実施した調査では、籠原駅南口路上への放置自転車は12台で、昨年より37台減少しているものの、エレベーター付近では54台で、12台の増加となっています。
全体では放置自転車は減少していますが、まだ解消されていないのも現実です。
熊谷市では、市営駐輪場に放置されている自転車を整理して、空きスペースを確保していますので、一人ひとりが駐輪場へ自転車を置くように心がけることが、大切なことだと考えています。
そのため、これからもJRなどと連携を図りながら、自転車利用者に対し、モラル向上の啓発活動に努めていきます。

○質問番号 5 福祉部関係

議席番号 5 大原中学校 市原つぼみ 議員

介護・福祉施設の見直し、スタッフの充実について 長寿いきがい課

最近注目されている介護・福祉についてですが、私は職場体験で有料介護施設にお世話になり、現場の方の意見をうかがい、自分の目で現状を見る事が出来たのですが、介護する側の人数・設備不足。そして、市の協力ももう少し欲しいとの事でした。

介護する側の人数というのも、職場体験をさせていただいた施設はお年寄り 3 人に対しスタッフが 1 人付くという体制でしたが、一般の老人ホーム等は、もっと厳しい体制などというお話もうかがいました。

高齢化が深刻になっている中で、自分がお世話になる側に立った時に設備もなく、何も出来ない環境だったらと不安です。

そこで、質問します。今のお年寄りの方や将来の自分達が住み良い街になるように、施設の状況を見直し、その状況に合わせてスタッフの人数を増やす等、色々な対策ができるのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。

議席番号 16 吉岡中学校 長谷川実咲 議員

学習できない世界の子への援助について 福祉課

世界には、学校に行けない人もたくさんいます。そんな人達のために、私達にもできることは、たくさんあるのではないのでしょうか。例えば、少しでも援助になるように募金をしたり、着なくなった服や、使わなくなった勉強道具など、そういったものを送ることはできますか。これは、とても大変なことだと思いますが、世界の人々の助けにもなるよう、やってみることはできませんか。

議席番号 18 別府中学校 吉野結香 議員

子どもが増えるための更なる取組みについて こども課

私の通う別府中学校の生徒数は、現在全校で 163 名です。元々規模が小さい学校ですが、近年の少子化の影響もあり、生徒数が年々減少しています。そういった学校の規模という問題もあると思いますが、私達の学校では、他の学校に比べ、部活動の数が限られています。現在活動している部は、六つのみです。また、部員が集まらず、休部に追い込まれる部もあります。熊谷市では、早くから子どもの医療費を無料にするなどの対策をしてくださっていますが、子供の数が増えるような、更なる取組みはあるのでしょうか。

市長および部長答弁

(市長答弁)

市原つぼみ議員さん、長谷川実咲議員さん、吉野結香議員さんの質問に私から全般的にお答えし、詳しくは、担当部長からお答えします。

「福祉」とは、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉です。

皆さんは、高齢者やこどもなど、生活を送る際に、なんらかの支援や介助を必要とする人から、世界の恵まれない子供たちに至るまで、暖かい手を差し伸べよう

と、その「福祉」について考えてくれました。

始めに、市原さんから「介護・福祉施設の見直し、スタッフの充実について」の質問をいただきました。

お年寄りが、その人らしく、幸せに、自立した生活を営めるようにするためには、家族の方だけでなく、広く、社会全体で支えていく仕組みが必要です。

そして、その仕組みが、うまく機能するためにスタッフの充実は不可欠であります。その費用についても考えていかなければなりません。

今後も、費用とのバランスを保ちながら検討してまいります。

次に、長谷川さんから「学習できない世界の子への援助について」質問をいただきました。

世界中の人々が幸せになることが、私の願いでもあります。

次の時代を担う中学生の皆さんが、人に優しくする心を持ち、広く、世界へ視野を向け、様々なことを考えてくれることについて、とてもありがたく、また、うれしく思っています。

支援については、公共的団体、民間団体等で様々な支援を実施しておりますので、これらに協力していきたいと思っております。

最後に、吉野さんから「子どもが増えるための更なる取組みについて」の質問をいただきました。

私は、昨年の市長選挙におけるマニフェストで、「子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします」と市民の皆さんに約束をしました。

また、熊谷市の総合振興計画では、リーディング・プロジェクトのひとつに「“子育てするなら熊谷市” 子育て応援プロジェクト」を位置付けていますので、市民の皆さんが子育てしやすい環境づくりに、全力で取り組み、皆さんの仲間を一人でも多く、増やしていきたいと思っております。

議席番号 5 大原中学校 市原つぼみ 議員

介護・福祉施設の見直し、スタッフの充実について (部長答弁)

市原つぼみ議員さんの「介護・福祉施設の見直し、スタッフの充実について」お答えします。

先日、国では、敬老の日にあわせて、9月15日現在の65歳以上の高齢者の人数を発表しましたが、その数は2,944万人で、前年より46万人増え、総人口に占める割合の23.1%になるとのことです。

また、熊谷市の65歳以上の高齢者は、10月1日現在で、43,937人で全人口の21.39%、5人に1人が高齢者となり、今後も高齢化率は、増加していく傾向にあります。

このように、高齢者の方が増えていく中で、これまで以上に寝たきりや施設に入る高齢者が増えることになると考えられます。

このような状況に備えるため、国は、平成12年度に、介護保険制度を導入し、家庭や施設で高齢者の介護を支援する制度を整えました。

この制度では、施設のサービス水準が適切に維持されるよう、介護する人の数や設備の基準が定められています。

したがって、基準を上回る職員を雇うと施設の負担となったり、また、利用者

の負担が増えることも考えられます。スタッフを増員することで増えた費用を誰が負担するのか、という大きな課題についての話し合いが必要となるでしょう。

ただ、これから高齢者の数が増える状況で、施設へ入所するだけでなく、お年寄りが住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、様々な在宅福祉の充実に努めていきたいと思えます。

議席番号 16 吉岡中学校 長谷川実咲 議員

学習できない世界の子への援助について (部長答弁)

長谷川実咲議員さんの「学習できない世界の子への援助について」にお答えします。

長谷川さんのお話のとおり、世界には貧困、戦争や内戦の被害などで学校に行き、学習できない子どもが、2007年のユニセフ報告書では、約9,300万人にも上るとのことです。

熊谷市では、独自の支援策を設けていませんが、日本赤十字社が実施する海外たすけあい義援金の募金活動に協力しています。

また、質問の趣旨に沿った活動を行っている公的な機関では、国際連合児童基金（ユニセフ）が有名です。ユニセフでは、皆さんから寄せられた募金で、学校の施設を整備したり、鉛筆やノート、スケッチブックなど教材の確保を行い、子どもたちが学校に行けるようにする活動に取り組んでいます。

また、民間にもこのような取り組みを行っている団体があります。

皆さんの学校でも、生徒会活動などを通して、世界の子どもたちへの支援に取り組まれているところもあるのではないのでしょうか。

皆さんの年齢のうちから、世界に目を向けることは大変重要なことです。

これからも、世界の現状をしっかりと見定め、国際感覚を身につけていってください。

議席番号 18 別府中学校 吉野結香 議員

子どもが増えるための更なる取り組みについて (部長答弁)

吉野結香議員さんの「子どもが増えるための更なる取り組みについて」の質問にお答えします。

少子高齢社会と呼ばれ、ますます、子どもの人口が減少しています。

吉野さんがおっしゃるように、熊谷市では、平成20年6月からこども医療費の中学卒業までの無料化を行ってきました。

そして、平成22年度からは、皆さんのような中学生までの子どもを対象に、子ども手当の支給を始めたところでもあります。このほか、子育て環境の整備として、来春、開設が予定されている籠原駅ビル内の保育所への支援や妻沼児童館にある子育て広場「なかよし」のように、子育て中の親子の交流の場を提供し、子育ての相談や指導、情報提供などを行う「地域子育て支援拠点」の整備を進めています。

さらに、皆さんも通ったことがあると思いますが、放課後児童クラブの事業や子育て家庭のお手伝いを行うファミリー・サポート・センター事業などに、力

を入れるなど、様々な事業に取り組んでいます。
こうして、安心して子どもを生み育て、教育できる環境をつくとともに、子どもたちの健やかで豊かな人間性を育めるまちにすることによって、子どもたちがたくさん増えるまちになるものと願っています。

○質問番号6 環境部関係

議席番号1 荒川中学校 大東千真 議員

打ち水の実施とグリーンカーテン補助制度について 環境政策課

全国でも暑さで有名な熊谷市です。気温を下げるために、どこかのまちでは打ち水を行って成果をあげているところもあるようです。熊谷市も、打ち水を市全体で行い、成果が上げることができるのではないのでしょうか。また、最近、グリーンカーテンが多く見られるようになりました。各家庭でもグリーンカーテンに取り組めるように、熊谷市で補助制度とか考えていただけないでしょうか。

議席番号11 大麻生中学校 岡田悠汰 議員

クリーンエネルギー推奨の補助制度について 環境政策課

今、世界規模で問題化になっている地球温暖化。そこで石油などの燃料にかわる新しいエネルギー源として期待されているのが太陽光発電です。僕の家も太陽光パネルを取り付けたのですが、市からの補助が出なかったそうです。クリーンエネルギー推奨のための熊谷市の補助制度はどうなっているのですか。お聞かせ下さい。

議席番号19 三尻中学校 小野塚仁海 議員

熊谷市の自然環境政策について 環境政策課

私の住む近所には、沢山の野鳥がいます。また、広瀬野鳥の森などには、あまり見ることのできない鳥がいることなどから、熊谷には豊かな自然があるといえると思います。

しかし、別府沼はかつて水鳥のすみかでしたが、公園が整備されてから数種類の鳥が見られなくなってしまいました。

熊谷市は、自然環境についてどのような政策を行ってきたのでしょうか。

市長および部長答弁

(市長答弁)

大東千真議員さん、岡田悠汰議員さん、小野塚仁海議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

皆さん、ご存知のとおり熊谷市は暑さ日本一のまちとして有名ですが、現在、暑さ対策日本一を目指してさまざまな事業に取り組んでいます。

大東さんの質問にある打ち水やグリーンカーテンは、私たちが身近に実践できる暑さ対策として大変有効であると考えていますので、これからも打ち水のイベントやグリーンカーテン・コンテストなどを通じて、普及拡大に取り組んでいきます。

また、岡田さんの質問のとおり、クリーンエネルギーの推奨は、地球温暖化対策に有効ですので、太陽光発電システム設置費補助や高効率給湯器設置費補助により、普及を図っています。

特に、太陽光発電の補助金は大変好評で、毎年早い時期に終了してしまうため、今年度は補助件数を2倍にしましたが、すでに受付を終了したという報告を受け

ています。

そして、小野塚さんの質問の熊谷市の自然環境政策についてですが、ムサシトミヨやホテルなどの保護を通じて自然環境を大事にするための政策や、地域の皆さんが行っている、里山などの自然を保全する取組みも応援しています。私たちに潤いと安らぎを与えてくれる豊かな自然を守ることは、地球温暖化を防止することにもつながりますので、これからも、環境政策を推進していきたいと考えています。

議席番号 1 荒川中学校 大東千真 議員

打ち水の実施とグリーンカーテン補助制度について (部長答弁)

大東千真議員さんの「打ち水の実施とグリーンカーテン補助制度について」にお答えします。

大東さんの質問の中にありましたように打ち水は、身近な暑さ対策として大変有効です。

熊谷市でも、平成19年度から市民団体等を中心に「くまがや打ち水大作戦」と題して、熊谷駅前や星川通り等の中心市街地で、打ち水を実施する啓発イベントを行っています。

これからも、こうしたイベントを通して、打ち水の有効性を広く市民にアピールしていきたいと考えています。

次に、グリーンカーテンの補助制度についてですが、毎年5月に開催している「くまがやエコライフフェア」において、グリーンカーテンの普及を図るために、アサガオの種を無料で配布しているほか、グリーンカーテンの作り方を市のホームページ等で紹介しています。

さらに、平成21年度から、市民や事業者を対象に、熊谷市グリーンカーテン・コンテストを開催し、入賞者を表彰するとともに市役所本庁舎1階ロビーにおいて、グリーンカーテンの写真を展示しています。

これからも、こうした活動を通して、グリーンカーテンの普及拡大に取り組んでいきたいと考えています。

打ち水の実施やグリーンカーテンの設置は、暑さ対策だけでなく、地球温暖化対策にもつながりますので、ぜひ、大東さんも家族や友人と実施して下さるようお願いいたします。

議席番号 11 大麻生中学校 岡田悠汰 議員

クリーンエネルギー推奨の補助制度について (部長答弁)

岡田悠汰議員さんの「クリーンエネルギー推奨の補助制度について」にお答えします。

熊谷市では、平成19年度から、クリーンエネルギーであり、本市の気候の特徴が生かせる太陽光を有効に利用し、地球温暖化対策を推進することを目的に、住宅に太陽光発電システムを設置する方に対し、費用の一部を補助しています。特に、21年度からは、新聞・テレビの報道などにより、太陽光発電システムが広く一般に知られるようになったことから、多くの市民の皆様から申請をいただき、5月19日に受付を終了しました。

今年度も、より多くの市民の皆様にご利用いただけるように予算を増額しましたが、予想を大きく上回るペースで申請をいただき、6月11日に補助金の予定額に

達したため受付けを終了しています。

また、高効率給湯器など、省エネルギー機器に対する補助も行っており、エネルギーを無駄なく効率的に使用する取組を進めています。

現在、風力や水力など、太陽光以外のクリーンエネルギー利用の可能性について調査を行っており、これからは、これらのエネルギーも有効に活用する方法を検討していきたいと考えています。

議席番号 19 三尻中学校 小野塚仁海 議員

熊谷市の自然環境政策について (部長答弁)

小野塚仁海議員さんの「熊谷市の自然環境政策について」にお答えします。

小野塚さんの質問のとおり、熊谷市は、現在でも、豊かな自然が多く残っており、そこには、様々な動植物が生息しています。

特に希少動植物の保護として、江南地区に生息する「ゲンジボタル」については、「熊谷市ホタルの保護に関する条例」によりホタルの捕獲の禁止はもちろんのこと、除草などについても規制を行い、生息環境の保護を行っています。

また、熊谷市の元荒川だけに生息する「ムサシトミヨ」については、地元の小中学校において増殖活動を行っているほか、市民団体やボランティアによる、川の清掃や草刈り、パトロールが行われています。

近年では、多様な動植物が生息する里山について、地元の皆さんが中心となり行っている保全整備活動に協力をしています。

さらに、環境教育講座や里山ウォーキングを開催して、熊谷の自然と希少生物の保護などについての啓発を行っています。

一度失われた自然を元に戻すことは、大変なことです。

これからも、より良い自然環境づくりに努めていきたいと考えていますので、是非、一緒にご協力をお願いします。

○質問番号 7 産業振興部関係

議席番号 2 荒川中学校 濱中史織 議員

暑さに負けない果物栽培について 農業振興課

熊谷市の暑い気候を生かした、熊谷産のマンゴーが栽培されているということ
をニュースで知りましたが、ほかにも熊谷市の暑さに負けない果物を栽培した
らどうですか。

議席番号 13 中条中学校 小澤佐余里 議員

熊谷から全国発信している物、活動について 商業観光課

県内一の生産量がある熊谷産小麦を全国に広めようと、「あやひかり」という小
麦粉を使ったパウンドケーキなどの販売に「くまがや小麦の会」がとりくんで
いると聞きました。

他にも、熊谷では五家宝に次ぐ「熊谷ギフト」の製作を考えているとも知りま
した。

このように、熊谷から全国発信しているもの、今、力を入れている活動などは、
まだ何かあるのでしょうか。そして、全国に広めようとどのような活動を行っ
ているのでしょうか。教えて下さい。

議席番号 28 妻沼東中学校 宮島達則 議員

妻沼地域の活性化と観光資源の活用について 商業観光課

僕は、熊谷市の北東部に位置する妻沼に住んでいます。現在は、妻沼東中学校
に通っていますが、小学校は秦小学校でした。少子高齢化の影響をまともに受
けている地域で、小学校の児童数は年々減っており、一方でお年寄りの方は、
一人暮らしの世帯がどんどん増えているというのが現状です。そういった現状
を変えていくために、地域の活性化が急務だと思います。そこで、今ある資源
を生かす方法の一つとして、利根川の渡し船を観光資源として活用してみても
どうでしょうか。インターネットの普及で全国各地にある渡し船を紹介するよ
うなホームページもあります。群馬県千代田町側は、だいぶ整備が進んでいる
ようなので、熊谷市側も整備し、渡し船の船つき場～荻野吟子記念館～グライ
ダー滑空場といった観光コースをもっとアピールしてもよいと思います。市長
さんは、妻沼地域の活性化と熊谷市の観光資源の活用にどのようなお考えをお
もちでしょうか。

市長および副市長、部長答弁

(市長答弁)

濱中史織議員さん、小澤佐余里議員さん、宮島達則議員さんの質問に、私から
全般的にお答えし、詳しくは副市長及び担当部長からお答えします。

熊谷市は平成19年に40.9度という日本一の気温を記録しました。このことは、
プラスとマイナスの両面を持っていると思っておりますが、熊谷市の名前を全国
に印象付けた点では、今までになかったことだろうと思っております。

この暑さと知名度を市の活性化につなげるという点で、市民の皆様の活動がプ

ラスに働いたものの一つが濱中さんからご質問いただいたマンゴー栽培だと思っています。甘くて美味しい果物がたくさんできることは、大変魅力的です。果物にはそれぞれ地域の気候や風土に適したものがありますが、近年の温暖化によって、従来の作物の北限が徐々に上がってきていますので、他の作物も積極的に研究してみる必要があると思っています。

次に、小澤さんのご質問ですが、熊谷市には全国でもトップレベルにある小麦に加え、美味しく生産量の多い野菜や、うちわ祭に代表される様々な祭事や行事、名所・旧跡、大規模なスポーツ施設など、全国に誇れるものもたくさんありますので、熊谷市の知名度に乗せてこうした情報を全国に発信しています。また、近年、雑誌やテレビなどで地域の特徴ある名物料理に関心が集まっていますが、熊谷市では新しく開発したかき氷の「雪くま」が暑さ日本一と結びついて、短期間のうちに知名度を上げ名物の一つとなりました。この経験を活かして、今、新たなB級グルメの開発にも力を入れて行きたいと考えています。次に宮島さんのご質問ですが、日本が若くて元気のある人たちが社会の大半を占めていた時代から、少子高齢社会に移行した現在、商業、工業、農業に加えて、観光は今後の日本に多くの可能性をもたらす産業の一つと期待されています。このため、地方も国も、観光資源の発掘・整備とそのPRに力を入れ国内だけでなく、海外からも観光客を誘致しようと知恵を絞っています。熊谷市でもこの知名度を活用して、お祭や名物のPRに努めています。また歴史ある財産を見つめなおして、現代の新たな光を当てることで蘇る観光資源もたくさんありますので、ご提案の利根川の渡し船を取り込んだ観光コースの設定も研究していきたいと考えています。

議席番号 2 荒川中学校 濱中史織 議員

暑さに負けない果物栽培について (部長答弁)

濱中史織議員さんの「暑さに負けない果物栽培について」にお答えします。

果物には、暑さに適したものや寒さや乾燥に適したものなどいろいろな種類があり、それぞれの地域の気候・風土に適したものが栽培されています。暑さに適した果物は熱帯果樹と言って、マンゴー、パパイア、パイナップル、バナナなどがあります。熊谷市では、温暖な気候に適したブルーベリー、栗、ぶどうなどが栽培されてきましたが、最近では、夏の期間、猛暑が続くようになり日本一暑いまちにふさわしいマンゴーの栽培も行われています。

しかし、一般的に熱帯果樹は、夏の暑さには耐えられても、冬の寒さや乾燥には耐えられません。

暑さや快晴日数が日本一の熊谷でも、冬を乗り切れる仕組みを考え、熊谷の気候に適したおいしい果物の栽培を研究していきたいと考えています。

議席番号 13 中条中学校 小澤佐余里 議員

熊谷から全国発信している物、活動について (副市長答弁)

小澤佐余里議員さんの、「熊谷から全国発信している物、活動について」にお答えします。

自分の住んでいる町が全国に誇れ、発信できるものがたくさんあることは、大変うれしいものだと思います。熊谷市には関東一の祇園といわれる「うちわ祭」や「花火大会」、「聖天山」や「文殊寺」などの名所・旧跡、「熊谷スポーツ

文化公園」などの大規模スポーツ施設など、たくさんの誇れるものがあります。また、美味しい食べ物もたくさんありますが、小澤さんがおっしゃるように、熊谷市は小麦の生産量が県内一、全国でもトップレベルです。そこで、今、熊谷産小麦で作った「熊谷うどん」を熊谷ブランドとしてPRしています。また、B級グルメ王選手権大会の常連となったかき氷の「雪くま」は、テレビやラジオで数多く取り上げていただき、今年の夏は市内や近隣の皆さんだけでなく、遠くからも熊谷においでいただきました。また、今、夏の間の「雪くま」だけでなく、冬の間も大勢の方に親しまれ、安くて、しかも美味しい新たなB級グルメを見つけています。ご質問の2つ目、全国に広める活動ですが、熊谷にあるスポーツ施設や名所・旧跡、おいしい食べ物を全国の皆さんに知っていただき、熊谷に来ていただくために、フィルムコミッションという事業に取り組んでいます。これは、映画やテレビドラマ、コマーシャルを熊谷で撮影していただき、全国の皆様にその映像を観ていただくことで、熊谷市のPRと観光客の誘致に役立てようとするものです。最近の主なものは、旧坂田医院を使用した「東京タワー」や妻沼運動公園体育館を使用した「書道ガールズ」の撮影がありました。このほかにも、熊谷市を紹介したDVDの制作や、ホームページの作成、見やすいパンフレットの作成・配布など、様々なメディアや機会を捉えて情報の発信をしています。

議席番号 28 妻沼東中学校 宮島達則 議員

妻沼地域の活性化と観光資源の活用について (部長答弁)

宮島達則議員さんの、「妻沼地域の活性化と観光資源の活用について」にお答えします。

新聞やテレビ・ラジオなどでお聞きのとおり、日本全体が少子高齢社会に移行し、2005年を境に、人口減少が現実のものとなりました。宮島さんの住んでいる地域でも、このことを実感しておられるのだと思います。

こうした中で、新たな活性化の要素として注目され、国、地方も力を入れて取り組んでいるのが、日本の美しい自然や歴史的建造物などを取り込んだ観光事業です。

熊谷市でも駅からハイキングやグリーンツーリズムなど、様々な観光事業に取り組んでいますが、来年6月に一般公開が予定されている聖天山も貴重な資源です。

この聖天山を観光振興の拠点の一つとして、地域の活性化を図るために、旧坂田医院跡地に駐車場や観光トイレの建設、イメージキャラクターの制作を行っています。

また、聖天山に来ていただいたお客様に、市内の他の地域にも観光していただくことで、それぞれの地域の活性化につなげようとの考え方の基に、聖天山を含んだ魅力あるモデルコースを検討していますが、宮島さんからご提案いただきました利根川の渡し船は、全国に30余しかないものの一つで、熊谷市の貴重な観光資源になる可能性を秘めているものですので、この活かし方についても研究していきたいと考えています。

○質問番号 8 都市整備部関係

議席番号 25 大里中学校 飯野実咲 議員

熊谷市の緑化の取組みについて 公園緑地課

熱くてもがんばる市民を目指していこうという取り組みも大切だと思いますが、環境のことも考え、熊谷市を涼しくするために、たくさんの木や植物を増やす取り組みをして、その成果をアピールすることができたら良いと思うのですが、いかがでしょうか。

議席番号 26 大里中学校 茂木拓也 議員

自転車利用促進の環境整備について 都市計画課

私達の町が熊谷市に合併して、この10月で5年になります。合併前は大里町といました。旧大里町には中学校が一校しかなく、通学距離が長いいためか、私達の学校では、生徒全員が、自転車を利用して通学しています。

また、部活動で他校と練習試合をするために他校へ行く時や、市の中心街へ出かける時など、自転車を利用する機会がたくさんあります。

また、私たちは、みんなが真剣に取り組まなければならない課題である、地球温暖化対策の一つとして、車の利用を減らすために、市全体として、自転車を利用する機会が増えれば良いと考えています。

でも、自転車を利用して、危険だとか、不便だとか感じる場合があります。

自転車専用道路の整備、駐輪場の充実、貸出自転車の配備など、もっと、自転車利用をしやすい環境整備をしていただくことは可能ですか。

議席番号 32 江南中学校 渡部晃輔 議員

視覚障害者用信号の設置について 都市計画課

熊谷市には視覚障害の人の為の信号があるのを僕はいくつか目にしたことがあります。その信号は視覚障害の人達にとってとても便利な信号です。何故かと言うと視覚障害の人達は音を頼りに信号を渡ります。その信号は青になると音が鳴るというしくみになっています。しかし、僕の住む江南地区にはありません。そのような信号ができると視覚障害の人達が気軽に安全に外出できると思います。福祉充実の為、江南地区にも設置を検討してください。

市長および部長答弁

(市長答弁)

飯野実咲議員さん、茂木拓也議員さん、渡部晃輔議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、担当部長からお答えします。

始めに、飯野さんの、「熊谷市の緑化の取組みについて」ですが、熊谷市では、様々な環境対策やヒートアイランド対策に取り組んでおり、樹木や草花を植えることも重要な施策と考えています。

現在、緑地の保全や緑化を総合的に推進するため、平成32年度を目標年度とする「緑の基本計画」を策定中です。これからは、この「緑の基本計画」に基づ

き、公園や学校などはもとより、皆さんの家庭でも緑が増えるような事業を検討していきます。

次に、茂木さんの、「自転車利用促進の環境整備について」ですが、熊谷市は、快晴日数日本一で、地形的にも平坦ですので、自転車利用に適した街と考えています。また、環境負荷の少ない移動手段としての自転車の役割も注目されています。

このようなことから、平成20年1月には、全国86市の一つとして、「自転車通行環境に関するモデル地区」の指定を受けました。現在、県道太田熊谷線の一部に自転車通行帯が整備されましたが、順次、自転車が利用しやすい環境整備を進めたいと考えています。

次に、渡部さんの、「視覚障害者用信号の設置について」ですが、熊谷市では、平成14年3月に、県内初の「熊谷市交通バリアフリー基本構想」を策定し、視覚障害者用信号の設置や点字ブロックの整備、歩道の段差を無くす工事などを行ってきました。

市役所前の交差点には、視覚障害者の杖に反応し、交差点の名前や横断距離、信号の色を音声で教えてくれる装置や、視覚障害者や車椅子利用者に配慮し、横断歩道と歩道との境目の段差を無くした、熊谷市で開発した「UD（ユニバーサルデザイン）ブロック」が設置されています。

これからも、施設のバリアフリー化を推進し、障害者やお年寄り、そして中学生の皆さんが、気軽に安心して外出できるようなまちづくりをしていきたいと考えています。

議席番号 25 大里中学校 飯野実咲 議員

熊谷市の緑化の取組みについて （部長答弁）

飯野実咲議員さんの「熊谷市の緑化の取組みについて」お答えします。

熊谷市では、さまざまな緑化活動を行っていますが、そのいくつかを紹介すると、市民参加による「ふるさとの森づくり」は、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、平成18年に熊谷スポーツ文化公園に約1万本、20年に熊谷さくら運動公園に約5千本の植樹を行いました。

そして、それらの樹木を育てるために、草取りや、肥料を与える作業も行っています。

さらに、市内の公園に、平成20年に7,800本、21年に1,400本の樹木を植えるとともに、公園の芝生化も進めています。

また、家庭緑化を支援するため、人生の節目となる入学や成人、結婚などの記念に、人生記念樹として、申し込まれた方に、平成20年に92本、21年に125本の樹木を頒布し、植えていただきました。

また、家庭で壁面緑化など、みどりのカーテンをつくるための朝顔の種を、平成21年に5千袋、22年に3千袋をイベントなどで配布するとともに、グリーンカーテン・コンテストを実施し、緑化推進を図っています。

木や植物は、気温の上昇を抑えるとともに、見た目の涼しさなどを演出してくれています。

これからも、市民の皆さんと一緒に、市内の緑を増やす事業に取り組むとともに

に、市報やホームページなどを通して、緑化の必要性を啓発していきたいと考えています。

議席番号 26 大里中学校 茂木拓也 議員

自転車利用促進の環境整備について (部長答弁)

茂木拓也議員さんの「自転車利用促進の環境整備について」にお答えします。近年、環境や健康に対する意識の向上などを背景にして、全国的に自転車利用のニーズが高まっています。

こうした中で熊谷市は、平成20年1月に、全国で86市、98箇所の一つとして、熊谷駅周辺をはじめとして、県道太田熊谷線、国道17号、市役所通線などが、「自転車通行環境整備のモデル地区」に指定されたことを受け、国、県と協力して、県道太田熊谷線の自転車道整備や、国道17号の自転車道社会実験に取り組んできました。

さらに、環境への負荷が少ない、ひと中心のまちづくりを理念とした「熊谷市都市環境改善基本計画」(エコまちづくり熊谷)を策定中で、歩行者・自転車等の利便性・快適性・安全性の向上を図る様々な事業を検討しています。また、県でも、自転車保有率日本一という埼玉の特性を生かし、国道や県道沿いに自転車道を整備する「ぐるっと埼玉ネットワーク構想」を策定中で、自転車利用の機運を高めるイベントとして、今月17日には、熊谷スポーツ文化公園においてサイクリングフェスティバルが開催されます。

これからも、国、県、市で連携をとりながら、自転車利用をしやすい環境整備を進めていきたいと考えています。

議席番号 32 江南中学校 渡部晃輔 議員

視覚障害者用信号の設置について (部長答弁)

渡部晃輔議員さんの「視覚障害者用信号の設置について」にお答えします。

視覚障害の方に対し、信号が青であることを音声で知らせる視覚障害者用信号機は、全国的には、「ピヨピヨ」と「カッコウ」という鳥の鳴き声を使用する擬音式と、「通りゃんせ」と「故郷の空」という歌を使用するメロディー式があります。

埼玉県では、平成4年度に、県内の視覚障害者用信号機をすべて擬音式に統一するとともに、原則として、南北方向の信号にピヨピヨ、東西方向の信号にカッコウを使用することとし、県公安委員会が設置しています。

設置の基準については、警察署や県公安委員会への要望箇所の中から、盲学校や福祉施設・公共施設など、視覚障害者の利用頻度が高い場所に優先的に設置されています。

現在、熊谷市では、熊谷駅周辺に34箇所、籠原駅周辺に1箇所設置されています。

熊谷市としては、高齢の人も若者も、障害を持った人もそうでない人も、安全に外出できるようなまちづくりを目指しています。

今後も、市内の交差点に、順次整備できるよう、熊谷警察署や県公安委員会に視覚障害者用信号機の設置を要望してまいります。

○質問番号 9 建設部関係

議席番号 23 大幡中学校 早川純香 議員

かめの道について 道路課

大幡中のすぐ近くにある、かめの道の利用についてなのですが、昔、妻沼線だったこともあって、道幅も広く、長い道です。ウォーキングをしている人や、犬の散歩をしている人、サッカーのリフティングの練習や、なわとびをしている子供なども見かけます。せっかく広い土地なので、ベンチや水飲み場などを設けたり、ちょっとした遊具を造ったり、花壇を置いたりして、もっと地域の人達が利用しやすい憩いの場にしてみてはどうでしょうか。

議席番号 31 江南中学校 木檜佑美 議員

市内にローマ字表記の標識等の設置について 維持課

英語の先生がいていたのですが熊谷の中の道路標示や標識は充実しているのですが、ローマ字表記が少ないと思うとのことです。熊谷市はニュージーランドのインバーカーギル市と姉妹都市であることや外国からのお客様もよくみかけます。その人たちは看板や表示に英語があると安心するそうです。特に駅はわかりにくいと聞いたこともあります。国際都市に近づくためにも小さなこととは思いますが実現できたらと思います。

市長および部長答弁

(市長答弁)

早川純香議員さん、木檜佑美議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

かめの道は、東武鉄道熊谷線の跡地を道路と公園として利用するために、東武鉄道から借り受けています。

整備計画としましては、現在事業を進めています第2北大通線を境に、南側は公園として、北側は車両通行可能な道路として整備を行います。

また、かめの道は、熊谷市の特性であります荒川と利根川の二大河川をつなぐ重要な役割を担っており、早期に全線が利用できるように整備を進めていきたいと考えています。

次に、木檜さんから質問のあった「市内にローマ字表記の標識の設置について」ですが、熊谷市は、国際感覚を持った人材育成を目指して、平成5年にニュージーランド・インバーカーギル市と国際姉妹都市の提携を結び、市民レベルでのさまざまな交流が行われています。

また、現在は、約3千人の外国人が熊谷市に住んでいます。

国際交流を進めるなか、熊谷市を訪れる外国人が、道路等に設置された標識や表示、看板に英語やローマ字表示があることで、安心して生活できるようになれば、国際交流も一歩前進するものと思います。

これからも熊谷市の国際化を様々な視点から推進していきたいと考えています。

議席番号 23 大幡中学校 早川純香 議員

かめの道について （部長答弁）

早川純香議員さんの「かめの道について」にお答えします。

かめの道は、昭和58年に廃止された東武鉄道熊谷線の跡地を有効利用するため、東武鉄道から土地を借りて道路や公園として整備を進めてきました。

大原地区の第2北大通線が交差するところから南側は、公園として既に整備が終わり、また、奈良地区の県道太田熊谷線から利根川までは、両側に歩道がある道路として整備されています。

大幡中学校付近は、道路としての利用計画で、既に歩道部分の整備は完了しており、車道部分は接続するメモリアル彩雲付近まで開通している第2北大通線とあわせて整備を計画しています。

従いまして、早川さんの質問の中で、歩道に花壇を置くことなどは可能ですので、今後、学校や地域の方々とも相談をさせていただき、地域の皆様方に親しまれ、安心して利用できるように検討していきたいと考えています。

議席番号 31 江南中学校 木檜佑美 議員

市内にローマ字表記の標識等の設置について （部長答弁）

木檜佑美議員さんの「市内にローマ字表記の標識の設置について」にお答えします。

道路標識は、道路利用者に対して地理の案内や道路の情報を知らせるものであり、目的地や経路を案内する「案内標識」、注意深い運転を促す「警戒標識」、規制等の内容を知らせる「規制標識」、道路を通行する上で、守っていただくことをお知らせする「指示標識」の4種類に分類されます。

速度制限や止まれ等の規制をする「規制標識」や横断歩道等を示す「指示標識」は都道府県の公安委員会が設置し、交差点や踏切等を示す「警戒標識」や「案内標識」は、国土交通省や都道府県、市町村などの道路管理者が設置しています。

設置される標識は、案内標識を除くと、図案化され、絵柄等で情報を伝達するように、道路交通法等により定められています。なお、現在設置されている案内標識においては、一部の補助標識を除くと、既にローマ字表記がされています。

このため、案内標識以外の道路交通法等により定められている標識に、ローマ字表記を取り入れることは、熊谷市だけでは対応できない難しい問題でありますので、関係機関に働きかけていきたいと考えています。

○質問番号 10 教育委員会関係

議席番号 4 富士見中学校 松尾英明 議員

教室にクーラーの設置について 教育総務課

熊谷の夏は厳しいので、扇風機をつけていただき有難うございます。それでも厳しいので、本校では、緑のカーテンを採用し、工夫してきましたが、もう少し、快適に授業を受ける為に、エアコンを取り付けていただけないでしょうか。そうしていただけると、生徒全員、真夏でも授業に集中して臨めるのではないかと考えています。

議席番号 10 玉井中学校 中島優 議員

学校にコンポストを設置することについて 学校教育課

玉井中学校では「エコ玉」活動として宿泊行事にマイ箸を持参したり節電・節水を心がけ、県や市にもお世話になり、今年も「エコバックの作成・配布」や「グリーンカーテンの設置」などに取り組むことができました。

現在、僕たちの学校では、以前に設置していただいた雨水タンク「雨水くん」を使って花壇に水くれをしています。他にも何か、学校で環境に良い行動はできないかと考えたところ、給食の残飯を利用できないかという案が浮かびました。

僕たちが毎日いただいている給食は、欠席者数によっては残ってしまい、とてももったいないと思います。学校に「コンポスト」を設置していただけたら、学校で残飯を土や肥料にすることができ、学校の緑化活動に生かすこともできると考えます。

検討をよろしくお願いします。

議席番号 14 中条中学校 若松大智 議員

中条中の体育館の建て替えについて 教育総務課

ぼくの質問は、体育館の建て替えについてです。

中条中は、体育館の老朽化がひどく、また、げた箱のスペースがないので体育館シューズは、外に置いたげた箱に入れてあります。雨の日は、くつがぬれてしまいます。それに、体育館の中に熱がこもりやすく窓を開けても、とても暑いのです。また、狭いので体育館内の部活は、練習試合も他の学校で行っているのが現状です。さらに、体育館への通路は床が木の板で、歩くとへこみます。急いで体育館に行くときは、床がぬけるのではないかと、心配になります。

体育館を建て替えるには、多くのお金が必要ですが、ぜひ検討をお願いします。

議席番号 30 妻沼西中学校 渡邊美月 議員

学校の耐震工事について 教育総務課

数年前よりテレビや新聞などで、建物の耐震強度について、問題視されています。

私たち妻沼西中学校では、耐震補強工事が行われていますが、熊谷市では、まだ耐震補強工事を行っていない学校施設があるのでしょうか。地震が起きた時、

学校も避難場所になるので、少しでも安全であってほしいです。また、まだ耐震補強工事を行っていない学校があったとするならば、いつまでに工事を行う予定なのでしょうか。

市長および教育長答弁

(市長答弁)

松尾英明議員さんから、「教室にクーラーの設置について」、中島優議員さんから、「学校にコンポストを設置することについて」、若松大智議員さんから、「中条中の体育館の建て替えについて」、渡邊美月議員さんから「学校の耐震工事について」、それぞれ質問がありました。これらは、皆さんの学校の施設についてのことで関連がありますので、私から基本的な考え方についてお答えし、詳しくは教育長からお答えします。

市が使えるお金は、市民の税金が中心であり、最近の経済不況で非常に厳しい状況にあります。

熊谷市では、この限られたお金を市民のためにいかに有効に使うかをいつも考えていますが、皆さんの学校での環境をよりよくしたいと思っています。

学校の施設面においては、安心・安全を第一に考え、皆さんが学校で一番長く過ごす校舎の耐震工事は、21年度ですべて完了しました。

ただ、体育館については、まだ、多くの学校に耐震化しなければならない体育館があり、市のお金の問題もありますが、なるべく早く耐震化を完了するように現在最優先で進めています。

中条中の体育館についても、老朽化が激しいため、現在、建て替えに向けての設計を行っていますので、楽しみにしててください。

また、普通教室のクーラーの設置についてですが、全普通教室に設置するとなると、非常に多くのお金がかかり、体育館の耐震化を優先していることから、非常に難しいと思っていますが、今年の夏のような猛暑の中での皆さんの大変さもわかりますので、何かいい方法がないか、これからも研究をしていきたいと思っています。

学校にコンポストの関係ですが、玉井中学校の皆さんの環境に対する取り組みについては、「平成21年度全日本学校関係緑化コンクール・学校環境緑化の部」で全国第2位になったこと、おめでとうございます。熊谷市としても誇りに思います。

コンポストについては、自分たちの生活を見つめ、これからの暮らしに役立てようという良い提案だと思います。

今まで以上に、一人ひとりが環境問題に対する意識を高めていって欲しいと思います。

議席番号 4 富士見中学校 松尾英明 議員

教室にクーラーの設置について (教育長答弁)

松尾英明議員さんの「教室にクーラーの設置について」にお答えします。

日本一暑いまちとして、熊谷市は、今年も連日のようにマスクミを賑わせてい

ました。

松尾さんにとっても、今年の夏の暑さは大変であったと思います。

学校では、熱中症対策用の冷却バンドナの使用や既にクーラーの設置がされている図書館等を交替で利用する方法など、それぞれ工夫をしています。

熊谷市は、今、地震対策のために学校施設の安全対策として体育館の改築を優先しています。

また、熊谷市が市民のために使える税金を中心としたお金にも限りがあります。全クラスへのクーラー設置には、大変なお金がかかり、財政的に難しい状況です。

来年からも地球温暖化の影響により猛暑の夏が予想されます。より効果的な方を教育委員会としても検討していきますので、生徒のみなさんも良いアイデアを出してほしいと思います。

また、大切なことは、熱さの原因である「地球温暖化」をいかに防止するかです。例えば、テレビなどの電化製品をつけっぱなしにせず、こまめに消すなどの節電やエコバックを持参しての買物、ごみの分別をきちんとすることによる、ごみの減量・資源化などがあります。

私たちが、真剣に考えて毎日の生活の中で、できることに取り組んでいきましょう。

議席番号 10 玉井中学校 中島 優 議員

学校にコンポストを設置することについて (教育長答弁)

中島優議員さんの「学校にコンポストを設置することについて」にお答えします。

これからの時代は、廃棄物をできるだけ少なくし、より効率的な資源利用を目指した循環型社会への取組が大切になってきます。

中島さんのおっしゃるとおり、有効活用できる物を自分たちの手で生かしていくことは、環境に優しいだけでなく、自分たちの地球をも守ることにもなりますので、大変素晴らしい案だと思います。

質問のコンポスト設置については、段ボールや発泡スチロールなどで作ることができますので、是非、皆さんで作ってみてください。

残飯につきましては、給食センターへ連絡をすれば、学校での肥料化を行うことは可能です。肥料になるまでは、3、4ヶ月必要です。この間、臭いや害虫等の問題も起こるかもしれませんが、これを解決した上で、学校の緑化活動に生かしていくことに、私も大賛成です。

しかし何よりも、残飯を出さないようにしていくことが大切になりますので、これについても考えてみましょう。

議席番号 14 中条中学校 若松大智 議員

中条中の体育館の建て替えについて (教育長答弁)

若松大智議員さんの「中条中の体育館の建て替えについて」にお答えします。

体育館は、授業や部活動等に数多く利用され、多くの生徒がスポーツを行い、

心身の健全な発達に役立っています。

中条中の体育館は、昭和47年に建築したもので、38年が経過し、老朽化していることは承知をしています。

また、熊谷市には、耐震化しなければならない体育館が多くありますので、耐震指標（I S 値）を基に、建設後の経過年数等を参考にしながら、耐震化へ向けての体育館の改築を進めています。

中条中学校の体育館については、市長さんのお話のように、現在、建て替えに向けて、地質調査を行い、素晴らしいと喜んでもらえるよう、使い易さと風通しなどを考慮しながら、設計を行っていますので、楽しみに待っててください。

議席番号 30 妻沼西中学校 渡邊美月 議員

学校の耐震工事について （教育長答弁）

渡邊美月議員さんの「学校の耐震工事について」にお答えします。

熊谷市内小中学校の全校舎の耐震工事は、工事中、皆さんに不便をかけたが、平成21年度で完了しました。

しかしながら、体育館については、多くの学校で耐震化しなければならない体育館があり、現在、耐震化へ向けての改築を計画的に進めています。

市の財源の問題もありますが、児童・生徒みなさんの安全を最優先して考え、なるべく早い時期に体育館の改築を終わらせたいと考えています。

○質問番号 11 教育委員会関係

議席番号 9 玉井中学校 荻原彩那 議員

さくらめいとに図書館を設置することについて 社会教育課

私達の学校に一番近い図書館は電車に乗らないと行くことができません。玉井中生には歩いていこうと思える図書館が一つもありません。自転車で熊谷市立図書館へ行こうと思っても私の家からでは10キロ以上もあり、時間があっても行くことを断念することがよくあります。電車で行くにしても、お金がかかるからという理由で自分から行こうとは思いません。玉井中周辺には「さくらめいと」という大きな会館があります。私はよく「さくらめいとに図書館があつたらどんなに便利だろう」と思います。熊谷市にはいくつの図書館があるのですか。また、さくらめいとなど大きな会館等に、新しく図書館をたてる予定はありますか。

議席番号 17 別府中学校 松本啓佐 議員

市出土の遺物を身近な場所に展示することについて 社会教育課

私は身近なところで発掘が行われていることを知り関心を持ち調べてみました。すると別府の地域はたくさん遺跡があることに気づきました。私は、近所の遺跡からどのような物が出土したのか気になりました。そこで熊谷市の文化センターへ行ってみると、市内の遺物が展示してありました。しかし、出土した遺物で展示されていないものはもっとたくさんあるのではないかと考えました。私は、別府の地域で出土した遺物をなるべくその場所で展示した方が良いと考えています。それぞれの地域に歴史があるのだからなるべく地元で置いた方が良いと思います。例えば公民館などを利用して展示することはできないでしょうか。私達も学習に役立てることができ、地域の歴史を知ることになると思います。

議席番号 27 妻沼東中学校 清水陽奈子 議員

図書館の開館時間の延長について 社会教育課

私は小さいころから市立図書館をたくさん利用させていただいています。明るく静かな空間で、たくさん本と出会えるので、私は図書館がとても好きです。ですが、中学生になってからはあまり図書館を利用できなくなりました。下校時間が小学生の時よりも遅いので、閉館時間を過ぎてしまうのです。熊谷には市立図書館が四館もあり、どこもとてもきれいで利用しやすいです。けれども、妻沼・江南・大里図書館は、開館時間が9時～17時まで、熊谷図書館は、平日9時～19時までと2時間の違いがあります。私たち中学生や市民のみなさんが近くの図書館をよりたくさん利用できるように、熊谷図書館以外の三つの図書館も開館を今より延長し、9時～19時までとすることはできないでしょうか。ぜひ、お願いしたいと考えています。

市長および教育長答弁

(市長答弁)

荻原彩那議員さん、松本啓佐議員さん、清水陽奈子議員さんの質問に私から全般的にお答えをし、詳しくは教育長からお答えします。

はじめに荻原さんの図書館についてですが、本に興味を持ち、読書を習慣化することは、自分の生き方や考え方を養うために、大変、重要な役割を果たしています。

熊谷市には、県立熊谷図書館と、市立の熊谷図書館、大里図書館、妻沼図書館、江南図書館の5館があります。

さくらめいと周辺の熊谷西部地区には、図書館がありませんが、現在の経済情勢・市の財政状況を考え合わせると、今すぐに新たな図書館を建設することは、大変困難な状況です。

これからも、市内の小・中学校図書室と市立図書館が連携し、興味と関心に応えられるよう、整備・充実に努めていきたいと考えています。

次に松本さんの市出土の遺物を身近な場所に展示することについてですが、熊谷市では、文化財保護思想の普及や啓発を行うため、出土した遺物を江南文化財センター展示室のほか、市立熊谷図書館内の郷土資料展示室でも展示しています。

また、妻沼展示館では、上之地区の遺跡を紹介した写真展を行うなど、市内の複数の施設で展示を行っています。

これからも機会を捉え、市民の皆様にも身近なところで、市出土の遺物を見ていただけるよう検討してまいります。

続いて清水さんの「図書館の開館時間の延長について」ですが、読書をするということは、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするものであることから、中学生の皆さんも、学校図書室や市立図書館を大いに活用し、本に親しんでほしいと考えています。

開館時間の延長は、利用者へのサービスの一つと考えますので、その効果などを見ながら検討してまいります。

議席番号9 玉井中学校 荻原彩那 議員

さくらめいとに図書館を設置することについて (教育長答弁)

荻原彩那議員さんの「さくらめいとに図書館を設置することについて」お答えします。

市立図書館では、皆さんにとって、多くの本と出会える場として、豊富な資料を用意し、皆さんの本選びや読書相談などのお手伝いをしています。

熊谷市には、県立・市立の図書館合わせて5館の図書館があります。これらの図書館から離れた地区の皆さんが新たな施設の設置を望んでいることは承知していますが、図書館の設置、運営には多額の費用がかかることから、現在のところさくらめいとに、新たな図書館を設置することは、大変困難です。

しかし、皆さんの読書意欲に応え、身近な場所で良い本に多く出会っていただくため、今後も学校の図書の実践のための図書購入費を確保してまいります。

また、現在、市立図書館からは、希望により、学校への図書の特貸し出しを、行っていますが、引き続き図書館と学校が、より一層連携・協力し、皆さんが読書に親しめる機会の充実と環境づくりを進めたいと考えています。

議席番号 17 別府中学校 松本啓佐 議員

市出土の遺物を身近な場所に展示することについて (教育長答弁)

松本啓佐議員さんの、「市出土の遺物を身近な場所に展示すること」についてお答えします。

市内の遺跡から出土した遺物を間近にみることは、郷土熊谷を知る上で大切な学習の一つであると考えています。

市内の遺跡から出土した遺物の多くは、江南文化財センターなどに保管するとともに、その一部を文化財センター展示室や市立熊谷図書館において、常設展示をしています。

また、今月の23日からは、市立熊谷図書館3階の展示室において「熊谷の発掘出土品展」を開催する予定ですので、ぜひ、ご覧ください。

松本さんからご提案の「地域の公民館などで展示すること」については、遺物を展示するガラスケースやスペースの確保などが課題となりますが、展示の仕方を工夫して、公民館でも展示をできるよう検討してまいります。

議席番号 27 妻沼東中学校 清水陽奈子 議員

図書館の開館時間の延長について (教育長答弁)

清水陽奈子議員さんの「図書館の開館時間の延長について」にお答えします。

熊谷市には、熊谷図書館、大里図書館、妻沼図書館、江南図書館の4つの市立図書館があり、図書の収集や、利用者の方への図書の提供など、お互いに協力し、よりよい図書館を目指して、運営を行っています。

今年度は、4館とも月曜日が休館日だったものを、2館ずつ、月曜日と火曜日に分けることや、妻沼図書館では、祝日も開館することなどを行い、より利用しやすい図書館となるよう休館日を変更しました。

現在、熊谷図書館については、熊谷駅に近いことなどから、通勤・通学の帰りに図書館を利用する方が、多く見込めるため、平日は、19時まで開館しています。

清水さんからのご要望の開館時間につきましては、利用する方が多く見込めるようになれば、検討したいと考えています。

○質問番号 12 教育委員会関係

議席番号 15 吉岡中学校 浅見健介 議員

ラグビーワールドカップ会場誘致及び選手育成について 保健体育課

2019年ラグビーワールドカップの日本開催が決定し、そこで試合会場の選定に入るといふニュースが新聞等で報道されました。そこで、熊谷市は「スポーツ熱中宣言都市」及び「ラグビータウン熊谷」というスローガンを打ち出していますが、ラグビーワールドカップ日本大会に向けて、会場の誘致についての考えをお聞かせ下さい。また、ラグビーワールドカップの開催時は、私たち現在の中高生が、中心となることが予想されますが、ぜひ熊谷市から代表選手を出すための選手育成策等をお聞かせ下さい。

議席番号 21 奈良中学校 栗原沙耶 議員

校庭の芝生化について 教育総務課

校庭の芝生化についての質問です。今、私達の学校の校庭は土です。少し風が吹くと、砂などが舞ってしまったりして、とても不便です。そこで、校庭を芝生にすれば、砂が舞うこともないし、転んだ時に、けがを、しにくくなると思います。そして、緑化にもつながります。校庭の芝生化について、どう思われますか。

市長および教育長答弁

(市長答弁)

浅見健介議員さん、栗原沙耶議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、教育長からお答えします。

はじめに、浅見健介議員さんの「2019年ラグビーワールドカップ会場誘致及び選手育成について」にお答えします。

ラグビーワールドカップが、日本で開催されることは、たいへん喜ばしく、大いに歓迎すべきことであると思います。

熊谷市は「ラグビータウン」として、これまで、様々な事業に取り組んでおり、「西の花園」に対して、「東の熊谷」といわれる熊谷ラグビー場では、全国高校選抜ラグビー大会をはじめ、大学やトップリーグの公式戦など国内の一流選手による試合がたくさん開催されています。

「スポーツ熱中都市熊谷」を世界に発信するチャンスでありますので、2019年にはワールドカップの試合が熊谷で行われるよう積極的に誘致を進めたいと考えています。

先日は、上田埼玉県知事に協力をお願いをしてきました。

また、晴れの舞台で地元熊谷の選手が活躍してくれたら素晴らしいと思っています。

続いて、栗原沙耶議員さんの「校庭の芝生化について」にお答えします。

校庭の砂ぼこり対策や転んだ時にけがをしにくい、といったことなど芝生にはいろいろな良さがあります。

今年度、桜木小学校校庭の芝生の拡張をモデル的に行いましたが、今後、この状況を見ながらどんな芝を、どのように植え付けたらよいか、また、それをどのよう

に育てたらよいのかなど検討しながら、校庭の芝生化を進めていきます。

議席番号 15 吉岡中学校 浅見健介 議員

ラグビーワールドカップ会場誘致及び選手育成について (教育長答弁)

浅見健介議員さんの「2019年ラグビーワールドカップ会場誘致及び選手育成について」に、お答えします。

ラグビーワールドカップが、初めて日本で開催されることが決定し、たいへん喜ばしいことであると私も思っています。

世界の強豪チームの迫力ある試合を間近に観戦し、ラグビーの魅力に触れる素晴らしい機会です。

幸いにして、熊谷ラグビー場は、ラグビー専用競技場であり、他にグラウンドが2面あるなど、国内有数の充実した施設です。

現在、埼玉県ラグビー協会などと一緒に、誘致活動の準備を進めているところです。是非とも実現できるよう努力したいと考えています。

また、選手の育成について日本ラグビー協会では、ワールドカップ日本開催に向けて、「日本代表はベスト8入りを果たす」を目標に、国際的な競技力を高めるための強化計画を立てていると聞いています。

埼玉県ラグビー協会でも、それぞれの世代ごとに、有望選手を選抜をし、練習会や合宿を行っています。

例えば、中学生の選手育成では、高校の強化担当の指導者を招いて、高いレベルの指導を受け、選手の競技力とともに、先生の指導技術の一層のレベルアップを図っています。熊谷市からも、有望な中学生や高校生が、このような育成・強化の場に積極的に参加しています。きっと熊谷市からも日本代表選手が生まれ、ワールドカップで活躍してくれると期待をしています。

議席番号 21 奈良中学校 栗原沙耶 議員

校庭の芝生化について (教育長答弁)

栗原沙耶議員さんの「校庭の芝生化について」にお答えします。

芝生には弾力性があり、けがをしにくい。砂ぼこりが減り、土や砂の流出を防ぐなどの効果のほか、都市部では、ヒートアイランド現象を和らげるなど、安全面に加え、緑化意識の向上、温暖化防止など様々な相乗効果も期待されています。

今年度、熊谷市ではモデル的に、桜木小学校の既にある芝生に追加し、全面芝生化を行いました。

芝生を長年維持するためには、芝刈りや給水など管理をきちんとしなければならず、桜木小学校では児童のみなさんや学校応援団などの地域の皆様のご協力をいただくこととなっています。

桜木小学校の状況を見ながら、これからの校庭の芝生化を進めていきます。

そして、芝生化された学校の校庭で思う存分、体を動かした地元熊谷の子どもたちが、2019年のラグビーワールドカップで活躍してくれたら素晴らしいと、私も思っています。